

意見広告

廃止？ その前に。

生活者の視点で

「厚生年金基金」を
議論してほしい。

今国会で、会社員の老後を支える
「厚生年金基金」の廃止に向けた法案が
審議されています。

全国の厚生年金基金の加入者は現在約*411万人、
受給者は約*280万人。

加入する会社の規模は、
従業員数約*40人未満の中小企業がほとんどです。

もし廃止されると、厚生年金基金からの年金が
生活費の一部となっている受給者だけでなく、

加入者にとっても、上乘せ年金がもたらえなくなってしまう。
厚生年金基金は、もともと国が定めた仕組みで、

国の指導のもとに設立・運営されてきました。
にもかかわらず、基金の財政懸念を理由に、

廃止した後の受け皿についてはまったく議論がされないまま
審議されているのが実情です。

早期解散を要望している厚生年金基金がある一方、
多くの厚生年金基金は存続を希望しています。

みなさんも自分の生活に関することが、
自分たちの知らない間に、

自分たちの意見も聞かれないまま
決まってしまうとしたら、どう思われるでしょうか。

いま一度、国民の生の意見に耳を傾け、
よりよい制度にするために

真剣に議論をする必要があるのではないのでしょうか。
国会でも、生活者の視点で審議されることを
私たちは強く要望します。

全国総合厚生年金基金協議会

03-3834-3190

<http://www.zensouki.jp/>



この印刷製品は、
環境に配慮した
資材と工場で製造
されています。